



H29.3.30

田村たくみ県議会だより *Challenge Spirit*

～チャレンジスピリッツ～

vol.64

Challenge Spirit とは・・・

直訳で「挑戦する精神」。一度志を抱いたならば、一度の挫折を苦とせず糧とし、常に挑戦する気持ちで前向きに頑張っていく「田村たくみ」の精神を表したものの。

埼玉県議会2月定例会特集！ 平成29年度予算！議員提出条例2本を可決！



予算特別委員会で総括質疑に臨む田村県議

謹啓 早春の候、皆様方に於かれましては、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、埼玉県議会2月定例会が2月20日から3月27日まで開会されました。知事提出議案「平成29年度埼玉県一般会計予算」ほか追加提案を含めて64件の議案について原案の通り可決いたしました。平成29年度埼玉県一般会計予算については、予算特別委員会における総括質疑に自民党を代表して質問を行いました。主に、埼玉エコタウンプロジェクトをはじめとする「知事の主要施策について」質問を行いました。事業の再考や提案に結びつく質問ができたと思っております。予算案は原案の通り可決致しましたが、予算特別委員会における質疑を通して課題が明らかとなりました「埼玉エコタウンプロジェクトの検証」他事業6本について、附帯決議を付けさせて頂きました。

また、継続審査となっておりました「埼玉県5か年計画の策定について」は、自民党議員団提案の修正を含めて可決致しました。修正内容につきましては、今後5年間で最も重点を置き取り組むべき「活力ある超高齢社会の構築」などの4つのテーマに係る取組が、分野別の各施策における取組の一つとして、分散して記載されているのみであることについて、県民に重点的に推進することを示すべきであるとの理由から、第2章として「重点推進課題」を新たに追加したものと等あります。約半年に渡り自民党議員団内での勉強会や5か年計画特別

委員会の審議を通し、原案より更に責任を明確にし、積極的な施策が行えるように修正させて頂きました。

更に、知事より人事についての議案が出されました。副知事2名及び監査2名については、提案の通り同意いたしました。教育委員会教育長の任命については、新しい教育長制度の導入に伴う人事のため、慎重に審議を行う必要性から通常の手続き通りに委員会に附託し、継続審査とすることとなりました。

また、自民党議員団提案による条例2本についても原案の通り可決頂きました。一つは、山岳遭難に係る県の防災ヘリコプターによる救助について手数料を徴収する「埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例の一部を改正する条例」であります。もう一つは、農林水産業の振興に関し、基本理念を定め、県の責務並びに農林漁業者等及び県民の役割を明らかにするとともに、農林水産業の振興に関し必要な事項を定めることにより、農林水産業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって本県における農林水産業の持続的発展及び県民の豊かな生活の向上に寄与することを目的とした「埼玉県農林水産業振興条例」であります。県政の課題を議員提案で積極的に取り組めたものと自負するところであります。

2月定例会県議会を通して個人的には、5か年計画の修正や条例の提案、予算委員会審査、条例提案など、多岐に渡る施策に自民党県議団の政務調査会長として責任ある立場で取り組ませて頂きました。大変勉強になる貴重な経験をさせて頂きました。来年度の人事もありました。議長には、熊谷市選出の小林哲也先生が、副議長にはふじみ野市、三芳町選出の土屋恵一先生がそれぞれ就任致しました。自民党県議団の役員も変わりましたが、私は政務調査会長続投となりました。

今後も、県政推進・地域発展のために、様々な施策に挑戦して参ります。皆様の更なるご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

埼玉県議会議員 田村たくみ

埼玉県防災ヘリコプターの山岳救助全国初有料化へ！

本県では、平成22年7月に秩父の山中で、山岳遭難者の救助活動を行っていた県の防災ヘリコプター「あらかわ1」が墜落し5名の隊員が殉職するという事故を受け、同年12月に議員提案により「埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例」を制定しました。

当条例には、附則として「山岳遭難に係る緊急運航に要した費用の遭難者等による負担及びその他の必要な方策について早急に対応する」よう定めております。ところが、当条例が施行されてから5年以上が経過しましたが、附則に定められた方策についてこれまで顕著な対策は執られておらず、山岳遭難の発生件数は高止まりが続いています。そもそも、登山は自らの意思で危険が内在する山岳に赴くものであり、それに加えて山岳遭難による救助活動には、他の救助活動と比較して、より大きな危険を伴うものであります。

そこで、これらのことを考慮し、防災航空隊の隊員が危険を冒して行う山岳救助に関し、受益者負担の観点から遭難者に一定の負担を求めることが県民の間で公平な取り扱いとなること。また、山岳救助の有料化により登山者に注意が喚起され、無謀な登山の減少にもつながるものと考え、今回の条例の一部を改正する提案を行うこととしました。

具体的には、埼玉県内の山岳で遭難した者を県防災ヘリコプターで救助した場合には、当該遭難者から救助に要した費用のうち、燃料費に相当する額（5万円程度）を手数料として徴収するものであります。但し、必要な業務や災害、経済的困難等の特別な理由が認められるときは、手数料を減額、又は、免除できるものとしてしました。



本会議にて提案説明を行う田村県議

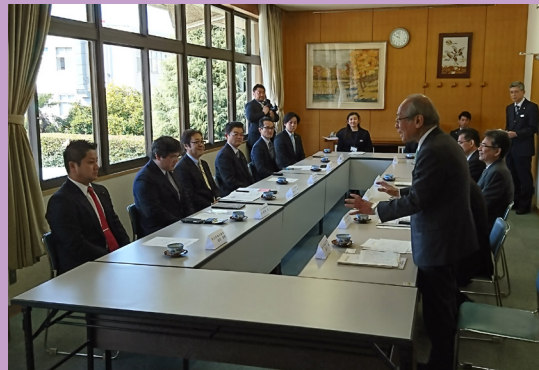
写真で見る活動報告！



防災ヘリ運航について田中国交副大臣に陳情



条例改正を防災ヘリ殉職者慰霊碑に報告



冠婚葬祭互助支援協会と県の災害協定を締結

田村たくみプロフィール

埼玉県議会議員（3期）

- 南6区（さいたま市見沼区）選出
- 埼玉県議会議会運営委員会 委員
- 企画財政委員会 委員
- 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 委員長

昭和46年10月15日生まれ（45歳）

- さいたま市立海老沼小学校 卒業
- さいたま市立片柳中学校 卒業
- 埼玉県立川口青陵高等学校 卒業
- 放送大学教養学部 卒業
- 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 修了（公共政策修士）

主な経歴及び役職

- 埼玉県議会自民党議員団 政務調査会長
- 自民党青年局中央常任委員会 副議長
- 自民党埼玉県支部連合会 青年局長
- 自民党さいたま市見沼区支部 支部長
- 埼玉県都市計画審議会 委員
- さいたま市大宮野球連盟 副会長
- リトルリーグ大宮東リーグ 会長
- 社会福祉法人 希求会 理事 等



県政のこと、身近なこと、何でもお気軽にご相談ください！お問い合わせは、「田村たくみ」事務所まで…！

埼玉県議会議員 田村たくみ 事務所

〒337-0042 さいたま市見沼区南中野457-15 e-mail: info@takumi-tamura.jp

電話：048-681-0005 FAX:048-681-0006

ホームページ <http://www.takumi-tamura.jp>

